

第37回テザー全日本選手権大会



SAILING INSTRUCTIONS

Version 26 November 2022

Change Log

Amendment 01: Addendum B change

Amendment 02: 6.3 delete、20.4, Addendum B change

Organizing Authority (OA):日本テザー協会、テザー江の島フリート

1. 規則

- 1.1. 本大会は『2021-2024 セーリング競技規則』（以下『規則』という）に定義された規則を適用する。
- 1.2. SI は NoR よりも優先する。これは規則 63.7 を変更している。
- 1.3. 規則 A6.1 を以下の通り変更する。

「ある艇が、コースの帆走をせず、それに応じて記録された場合、レースで失格とされた場合、またはフィニッシュ後リタイアした場合には、その艇の後にフィニッシュしたそれぞれの艇の順位を1つずつ繰り上げなければならない。」
- 1.4. 本大会に適用される全ての規則において、[SP] [NP]の表記は以下を意味する。
 - 1.4.1. [SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。
 - 1.4.2. [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a) を変更している。
- 1.5. 規則 付則 G3 を次のとおり変更し適用する。

G3 チャーターまたは借用艇

レース公示、または帆走指示書に記載している場合、大会のためのチャーター艇または借用艇には、クラス規則に反している国を示す文字や他の参加者と重複しないセール番号を付けることができる。
- 1.6. 規則 87 およびテザークラス規則解釈 29 に基づき、テザークラス規則を次の通りに変更する。
 - ・C.1.5 国を示す文字とセールナンバーは最低次の寸法でなければならない。高さ：300mm、幅：200mm（1とIを除く）、太さ：50mm。隣接する数字の間隔は、およそ50mmでなければならない。

- ・ C.2.2(o) シュラウドテンションを調整する 19mmRCB システムを装備することができる。

RCB システムは以下の艀装品または同等品から構成される：

Ronstan RC11902 Cars

Ronstan RC11980 Track Ends

Ronstan RC1190 - 1.0 Track

Clamcleat CL268AN Cleats

Ronstan RF 1850S Shackles

18mm の硬質の合金あるいはステンレスで、両側のトラック端からおよそ 15mm 以上伸びる長さの、ガンネル下の負荷分散用のサポートロッド。

ガンネル下のサポートロッドは、どの方向にも 17mm 以上の直径であることを条件に、ワッシャーやナットを固定させるために、その全長にわたって平らに表面加工されていても良い。

ネジの固定

RCB トラックとガンネル下のサポートロッドは前後両端が 4 分の 1 インチ (6mm) のネジで固定されていなければならない。他の中間の (1 あるいは 2 本の) ネジは 16 分の 3 インチ (5mm) あるいは 4 分の 1 インチ (6mm) で良い。前端を持ち上げるパッキンは許可されていない。

計測

バウの U ボルトあるいはサドルと前側のトラック端のネジ穴を写真のようにデッキレベルで計測した長さは、最少 2125mm、最大 2135mm でなければならない。カーの移動範囲は 140mm を超えてはならない。

- ・ C.6 削除。

2. [DP] [NP] 識別・カメラや電子機器

艇は OA により選択され支給された電子機器を艇の指定された位置に搭載するよう要求されることがある。艇はこの要求に従わなければならない

3. 帆走指示書の変更

- 3.1. レース日程の変更は、それが発効する前日の 20:00 までに掲示される。また、帆走指示書の変更は、それが発効する当日の予告信号 60 分以前に掲示される。

4. コミュニケーション

- 4.1. 公式掲示板はオンラインのみとし、下記ウェブサイトで利用できる。

公式掲示板 URL : <https://bit.ly/3D0Goo2>

- 4.2. 競技者とのコミュニケーション

大会は、ソーシャルディスタンスを保つため可能な限り「LINE オープンチャット」で行うこととする。(なお、LINE オープンチャットでの選手からの投稿は認めない)

- 4.3. 水上では、レース委員会は VHF 無線で支援者に連絡を行う。チャンネルは 72ch とする。

- 4.4. [DP][NP]緊急の場合、またはレース委員会が提供する機器を用いることを除き、艇はレース中無線送信もすべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用する。

5. 行動規範

- 5.1. [DP] 競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。
- 5.2. [DP] 競技者および支援者は、主催団体によって提供された、装備の取扱いを、その使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく、実行しなければならない。

6. WEB 上に発せられる信号

- 6.1. 今大会は通常陸上で掲揚される信号は、大会 LINE オープンチャットに掲示される。
(画像または文字)
- 6.2. WEB 上に回答旗が掲揚された場合は、レース信号回答旗中の「1分」を「40分以降」と置き換える。

7. 欠番

8. スケジュール

8.1. レース日程

日付		時刻	
Day1	11月26日(土)	登録	09:00 ~09:30
		計測	~09:30
		開会式・艇長会議	09:30
		最初の予告信号予定時刻	10:55
Day2	11月27日(日)	その日の予告信号予定時刻	09:55
		表彰式・閉会式	16:00を予定

- 8.2. 1日のレース数は最大4レースとする。
- 8.3. レース委員会の裁量により、予定された日に行われなかったレースは、翌日に行うことができる。
- 8.4. 引き続き行うレースのための予告信号は、できるだけ速やかに発せられる。
- 8.5. 最終日の予告信号は13:30より後には発しない。

9. クラス旗

クラス旗はテザー旗を用いる。テザー旗とは白旗の中央に赤色のテザークラスのマークを記したものである。

10. コース・エリア

コース・エリアの場所を SI Addendum A に示す。

11. コース

- 11.1. SI Addendum B の見取り図はレグ間の概ねの角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 11.2. 予告信号以前もしくは同時にレース委員会信号艇に、選択されるコースを掲示する。また、最初のレグのおおよそのコンパス方位・距離を掲示する。

12. マーク

12.1. マーク、または関連したゲートマークは、次の通りとする。

マーク 1, 2, 3	新しいマーク	スタート・マーク	フィニッシュ・マーク
ピンク円錐台	緑色の円錐台	レース委員会艇	レース委員会艇 黄色の細い円筒形

12.2. スタート・マークとフィニッシュ・マークはレース委員会艇か、インフレータブルマークである。

13. スタート

13.1. スタート・ラインは、レース委員会艇の「オレンジ色旗またはオレンジ色のぼり」を掲げたポールの間とする。

13.2. スタート信号の4分以降にスタートする艇はDNSと記録される。この項は規則 A5.1 及び A5.2 を変更している。

14. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、(a)新しいマークを設置するか、(b)フィニッシュ・ラインを動かす。また、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

15. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上の青色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークのコース側の間とする。

16. ペナルティー方式

規則 42 違反に対し、付則 P を適用する。

17. タイム・リミットと目標時間

17.1. タイム・リミットと目標時間は次の通りとする。

タイム・リミット	マーク1のタイム・リミット	フィニッシュ・ウインドウ	ターゲット・タイム
60分	25分	20分	40分

マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、レースは中止する。

17.2. 先頭艇フィニッシュ後、フィニッシュ・ウインドウ内にフィニッシュしない艇はDNFと記載される。この項は規則 35 と A4, A5 を変更している。

17.3. ターゲット・タイム通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは規則 62.1(a)を変更している。

18. 審問の要求

18.1. 抗議または救済や審問再開の要求は下記 web サイトのオンラインフォーム [“Hearing Request \(抗議書 審問リクエスト\) フォーム\)”](#) にて、適切な制限時間内に提出しなければならない。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には、プロテスト委員会事務局で入手できる用紙に記入し、同事務局に持参して提出することができる。

- 18.2. **抗議締切り時刻**はその日の最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。ただし、プロテスト委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。
- 18.3. 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、**抗議締切り時刻**後 20 分以内に**通告を掲示する**。審問はヨットハウス 1 階 A2 会議室内の審問室にて公式掲示板に**掲示された時刻**に始められる。
- 18.4. レース委員会、テクニカル委員会、またはプロテスト委員会による抗議を規則 61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。
- 18.5. 規則 42 違反に対するペナルティーを課せられた**艇のリストを掲示する**。
- 18.6. 規則 64.4 (b) に関する事項の「責任ある機関」は本大会のテクニカル委員会である。
- 18.7. 規則 50.1(b)および各クラス規則の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができる。
- 18.8. [SP]印の規則の違反は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することができる。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、**公式掲示板**に掲示され、得点記録の略語は STP とする。レース委員会は、ペナルティーが不適切であると考えたとき、艇を抗議することがある。この項は規則 60.1、63.1 および付則 A5 を変更している。

19. 得点

- 19.1. 艇は掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、下記 web サイトのオンラインフォーム“**Scoring Inquiry (成績照会のフォーム)**”にてレース委員会に提出する事で得点及び、成績の訂正を要請する事が出来る。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には、レース委員会事務局で入手できる用紙に記入し、同事務局に持参して提出することができる。
- 19.2. 本大会は 2 レース成立する必要がある。
- 19.3. 4 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- 19.4. 4 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

20. [DP] [NP]安全規定

- 20.1. 本大会はチェックアウトチェックイン及び、DNC 報告、リタイア報告をオンラインで行う。
- 20.2. チェックアウトチェックイン
レース委員会は、大会 LINE オープンチャットに各申請フォームを毎日投稿する。
 - 20.2.1. [SP]レースに参加しようとする競技者は、その日の予告信号時間までに「**Check-out フォーム**」からセイルナンバーを選択し、送信しなければならない。また、レースに参加（出艇）しない艇は、その日の予告信号時間 40 分前までに「**RET 報告フォーム**」からセイルナンバーを選択し、送信しなければならない。
 - 20.2.2. [SP]帰着した艇の艇長は、帰着後速やか（出来るだけ早い機会）に また、その日の最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分以内に「**Check-in フォーム**」からセイルナンバーを選択し、送信しなければならない。ただし、レース委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。
 - 20.2.3. [SP]海上でリタイアした艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前にレース委員会艇にその旨を伝えること。また、帰着後速やかに SI20.2.1 の「**RET 報告フォーム**」からセイルナンバーとリタイアレースを選択し、送信しなければならない。

20.2.4. [SP]一度ハーバーに帰着した艇（SI20.2.3）及び、SI20.2.1 の **RET 報告**の手続きを行った艇が再度レースに参加しようとする（出艇する）場合、競技者は「**RET 報告フォーム**」からセイルナンバーと再出艇を選択し、送信しなければならない。

20.3. レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。

20.4. レース委員会が **F 旗**を掲揚した場合、すべてのレース委員会艇とサポートボートは危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。

21. [DP] 装備の交換

21.1. 損傷または紛失した装備の交換はテクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は最初の妥当な機会にテクニカル委員会に行われなければならない。

22. [DP] 装備と計測のチェック

22.1. 艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認する為、いつでも検査されることがある。

22.2. 水上で艇は、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示された場合、従わなければならない。

23. 運営艇の識別

運営艇の標識は次の通りである。

Boat	Flag description
レース委員会	ピンク地に赤色で “RC”
プロテスト委員会	黒地に白色で “JURY”

24. [DP] 支援艇

24.1. 支援艇は、危険な状態にあるボートからの救助要請により救助を行うか、プロテスト委員会またはレース委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュまたはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの 100m以上外側にいなければならない。

24.2. 支援艇は出艇から帰着するまでの間、常に OA が用意したピンクリボンを掲揚しなければならない。

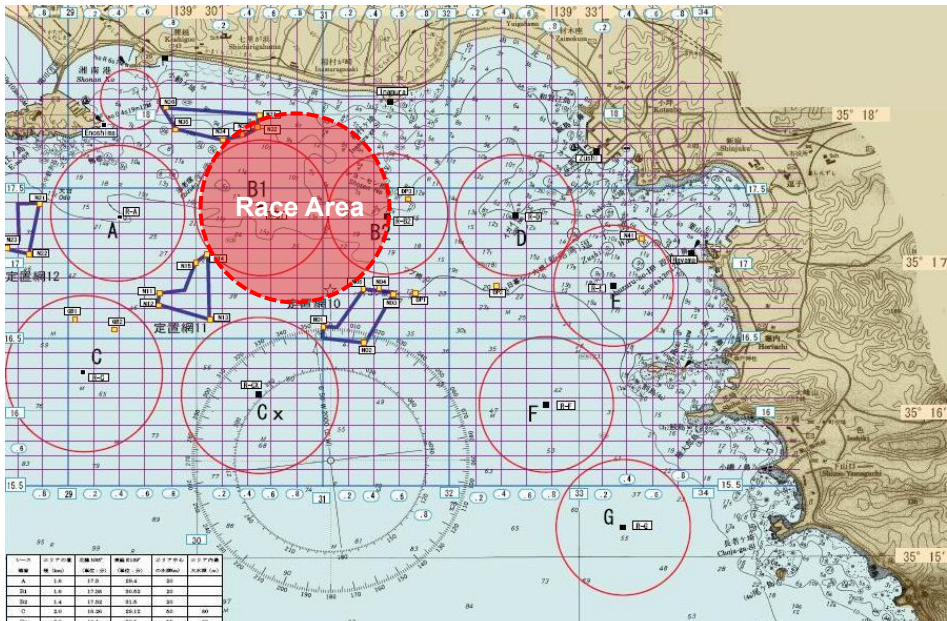
25. ゴミの処分

ごみは支援艇またはレース委員会艇・プロテスト委員会艇に渡してもよい。

26. リスク・ステートメント

規則 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

SI Addendum A



SI Addendum B COURSE ILLUSTRATION

